

生成AI プロンプトの工夫

アプリの開発環境にノーコードツールの「Click」を用いる
コードを記述せずに、部品を組み合わせてアプリを作る
UIとモデルに渡すメッセージも自ら考えアプリに組込む

4つのアプリを作成

日本語の文書を敬語にしてくれるアプリ、
日本語や英語の文章の誤りを添削してくれるアプリ
年号を入れるとその年に起きたことを表示するアプリ
答えからクイズを作成するアプリ

生成AI プロンプトの工夫

事例（その1）

年号を入れるとその年に起きたことを表示するアプリ
プロンプトに年号を設定すると
その年に起きた日本や外国の出来事を表示する

最初AIは、種々雑多な回答を返してきた

次に、具体的な国名をプロンプトに設定してみた
だが回答は文章の羅列で分かりにくい

<続く>

生成AI プロンプトの工夫

事例（その1 続き）

「箇条書きで答えて」とプロンプトに追加した
回答が締まって分かりやすくなる

生成AIが出した回答が全て「正しい」わけではない
回答が正しいかどうかをネット検索等で確認する
自分が確実に覚えている年号で確認する

生成AI プロンプトの工夫

事例（その2）

答えからクイズをつくってくれるアプリ

人の名前でクイズを作成すると満足する人が多い

入力するメッセージ（プロンプト）のつくり次第で
生成AIは意図せぬ回答を出力する、ことがある